会議の議事録

会議の名称	(番号) 1-04	墨田区国民健康保険運営協議会（令和6年度第1回）		
開催日時	令和6年9月25日（水）午後2時から午後2時50分まで			
開催場所	墨田区役所 7階 庁議室			
出席者数	<p>15人 【委員】被保険者を代表する委員 4名 木村、倉田、大嶋、星野の各委員 保険医又は保険薬剤師を代表する委員 4名 浅野、萩川、浅尾、勝野の各委員 公益を代表する委員 6名 福田、はねだ、村本、しみず、中村、あべの各委員 被用者保険等被保険者を代表する委員 1名 古川委員</p> <p>8人 【事務局】区民部長、国保年金課長、 国保年金課係長4名、こくほ庶務係職員2名</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
議 題	<p>議題第1 会長及び同職務代理者の選任について</p> <p>議題第2 墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例（案）について</p> <p>議題第3 墨田区国民健康保険条例施行規則の一部を改正する規則（案）について</p>			
配 付 資 料	<p>1 墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例（案）概要</p> <p>2 墨田区国民健康保険条例施行規則の一部を改正する規則（案）概要 （参考資料）マイナンバーカードと健康保険証の一体化について</p>			
会 議 概 要	<p>1 開会</p> <p>2 区長挨拶 （公務の都合により、区長退出）</p> <p>3 新委員の紹介</p> <p>4 議題第1 会長及び同職務代理者の選任</p> <p>（1）会長が決定するまでの間、国保年金課長が進行を務めることとした。</p> <p>（2）墨田区国民健康保険運営協議会規則第6条第2項に定める定足数について、委員の半数以上の出席があり、会議が成立することを報告した。</p> <p>（3）会長選任の議題については、公益を代表する委員から、会長は福田委員にお願いしたい旨の提案があり、各委員から特段異議がなかったため、福田委員を会長に選任することに決定した。</p> <p>（4）会長職務代理者選任の議題については、公益を代表する委員から、会長に一任したい旨の提案があり、各委員から特段異議がなかったため、会長の指名により、はねだ委員を会長職務代理者に選任することに決定した。</p>			

- 5 マイナンバーカードと健康保険証の一体化についての概要説明
区民部長から、制度改正の概要について配付資料に基づき説明した。
- 6 議題第2 墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例（案）及び議題第3
墨田区国民健康保険条例施行規則の一部を改正する規則（案）の審議
国保年金課長から、改正条例案・規則案について配付資料に基づき説明した後、
審議を行った。

【質疑応答】

A 委員：国保と後期高齢者医療制度、各制度の加入者におけるマイナ保険証
利用率についてお答えいただきたい。

国保年金課長：本年7月末現在で国保加入者では11.48%、後期加入者では8.19%と
なっている。

A 委員：9割近くの人がマイナ保険証を利用していないという実態がある中で、
世論調査等でもマイナ保険証に対する不信感や不安、懸念などの声があ
がっている。マイナ保険証をめぐる世論について、区としてはどの
ように認識しているのか。

国保年金課長：おっしゃるとおり、マイナ保険証の利用率は、我々が目指している
数値と比較すると低い値であると認識している。その要因として、
マイナンバーカードと健康保険証のひも付け誤りやカードリーダー
のエラーなどの事例が発生していること、マイナンバーカードを持
ち歩くこと、そのセキュリティ面に不安を感じている人も多くいる
ことなどが挙げられる。システムエラー等の問題については、この
間、国と我々保険者がともにシステム改修やマイナンバー情報の総
点検を行い、そうした誤りはなくなってきており、今後なくなって
いくものと認識している。

現在、マイナンバーカードの普及率は約78%であり、更なる普及の
取組が必要である。その際、マイナンバーカード自体に全ての情報
が入っているわけではなく、ICチップに必要な4情報が入っている
だけで、暗証番号等をキーにしてひも付けをすると、初めて情報
を活用できるというマイナンバーカード自体の安全性をPRしてい
かなければならないと思っている。

マイナ保険証の利用率が上がらないもう一つの要因として、現行の
紙の保険証が来年の9月末まで利用できるということがある。有効
期限が切れるのに合わせて、マイナ保険証の利用率を上げていくと
いうのが行政の責務であり、取組を続けていく必要がある。

A 委員：様々な問題、多くの課題がある中で、マイナンバーカードと健康保険証
を一体化することは、私は問題があると考えている。現行の保険証が
資格確認書に代わるという話があったが、見た目も含めて現行の保険
証と何ら変わらない。そういう意味でコストを新たにかけてやる必要
があるのか、今のまま、マイナ保険証も現行の保険証も使えるという
運用でよいのではないか。

マイナンバーカードと健康保険証の一体化というのは国の方針だが、区としては今の運用のままだと、どのような不都合が生じると考えているのか。なぜ、わざわざ一体化をする必要があると考えているのか、最後にお聞きしたい。

国保年金課長：どのような不都合があるのかという話があったが、我々としては、メリットを最大限に活かしていきたいと考えている。マイナ保険証の利用により、本人の同意のもと、様々な情報を医療機関や薬局で閲覧することができ、より良い医療が実現できる。また、限度額適用認定証をわざわざ申請し持っていくという必要もなくなる。保険者や医療機関等においても、確実にリアルタイムで資格の確認ができることで、レセプトの返戻手続や未収金の発生などのデメリットを解消していけると考えている。また、今後は救急や災害の分野でも、マイナ保険証やオンライン資格確認システムによるメリットが最大限に発揮されていくと考えている。マイナ保険証を使わないとデメリットがあるということではなく、使うことによってメリットが増えていくということをPRしていきたい。

B 委 員：高齢者や思想の問題等も含め、マイナ保険証へ移行しない人は一定数いると思うが、区はどのように対応していくのか。

国保年金課長：現在、約50%の人がマイナンバーカードと健康保険証のひも付けをしている。残りの50%をなるべく100%に近づけていく努力はするが、資格確認書のままという人も一定程度いる。法の規定上、資格確認書は期間の定めがあるものではないので、このまま続いていくものと認識している。ただし、資格確認書を職権で交付するという経過措置については、当分の間ということになっているので、この部分については数年内に変更があるかもしれない。半数以上の人資格確認書を持つという見込みの中で、近いうちにそうした変更が行われるとは考えていない。

B 委 員：高齢者など現行の保険証に慣れている人は、資格確認書のままだろうなど自分では感じている。一点気になるのが、マイナンバーカードと健康保険証が一体化されると、その人が扶養している子供や高齢者の情報が電子的に見ることができるようになるが、プライバシーへの配慮などについてはどのように考えているのか。

国保年金課長：マイナ保険証にはマイナポータルで医療費通知の情報を確認できるという仕組みがあり、確定申告の医療費控除がスムーズにできるというメリットがある。扶養している家族については、マイナポータル上で代理人登録という手続がある。委任する側、受任する側それぞれが代理人登録をすることで、ほかの家族の情報を閲覧して、利用できるということを周知していきたい。

B 委 員：ほかの家族の情報を閲覧できるということで、見せたくないものも見せなくてはならないのではないかという懸念もある。マイナ保険証の便利な部分とプライバシーの部分の精査できるような状況なのか。

- 国保年金課長：既にその仕組みは整っている。代理人登録もそれぞれが行う必要があり、勝手に行うことはできない仕組みになっている。
- C 委員：マイナ保険証を利用する側の不安を解消することが必要だということで、医療機関や薬局の先生方から現場の声をお聞きしたい。
- D 委員：私の薬局にもマイナンバーカードと健康保険証のひも付けを行う機械を半年以上前から設置しているが、薬局でひも付けができるということを知らない人が多いので、もっと周知をしてほしい。薬局での設置率はかなり高く、相談があれば積極的にひも付けを行っている。
- E 委員：厚労省のデータを見ると、病院などの医療機関では、設置率も利用率も高いが、薬局では処方箋があると保険証を見せないケースもあるので利用率は低い。
薬局のポータルサイトを見ると、ここ数か月で一番利用率が高い月でも約14%くらいである。医科、歯科、薬局ともに、利用率が上がるとインセンティブが付く仕組みがあるが、それでも低いのが現状である。
- F 委員：一体化ということで、被保険者の記号番号等がきちんとひも付けできているのか、心配だという声が上がっている。
- G 委員：情報提供として、歯科医師会では94%のクリニックで、マイナンバーカードのひも付けができる機械を設置してあるが、実際の稼働率は数パーセントでほとんど稼働していない。マイナ保険証が利用されると保険点数が上がる仕組みであるため、働きかけはするが、利用しないケースがほとんどである。
- H 委員：私は実際にマイナ保険証を利用する立場として、病院に行って国民健康保険の保険証を出すと、高齢受給者証も出すようにと言われることがあるが、マイナ保険証であれば1枚で済むというメリットがある。マイナ保険証にはメリット、デメリットがあると思うが、メリットを周知していくと、案外、高齢者でも使いやすいのではないかと実際に利用してみて感じた。
- 区民部長：マイナ保険証の仕組みを稼働していくためには、更なる周知が必要であり、メリットをきちんと伝えていくことが重要だと感じている。マイナ保険証の仕組みは医療DXの一環であり、一朝有事の際やコロナのようなパンデミックの際に、より良い医療サービスを提供するための一つの手段であると認識している。
今後、高齢者が増えていくような社会状況において、マイナ保険証のメリットをきちんと伝え、多くの人とそのメリットを享受できるように、区としても情報発信を強化していきたい。
- 国保年金課長：メリットの周知方法として11月には区報の一面で紹介予定である。また、医師会・歯科医師会への情報提供も行っており、様々な媒体を通して案内をしていきたい。今回いただいた現場の声を加味しながら、情報の伝え方も工夫していきたい。

	<p>【審議結果】</p> <p>改正条例案・規則案について、一部の委員から異議があったが、挙手による採決の結果、賛成多数であったことから、原案を適当と認めることと決定した。</p> <p>この審議結果については、会長において整理の上、区長に答申することとした。</p> <p>7 閉会</p>
所 管 課	区民部 国保年金課 こくほ庶務係 03-5608-6120 (直通)